

2016 SIP 防災・インフラ維持管理合同シンポジウム

この度、SIP 防災・インフラ維持管理の合同シンポジウムを下記要領で開催いたします。

本シンポジウムは、SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」の活動紹介ならびに SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」との合同セッションにより、共通技術の利活用について意見交換・交流を進めるとともに、一般の方へ情報発信を行う場として開催するものです。

どなたでもご参加いただけますので奮ってご参加ください。

開催日時	2016 年 3 月 4 日（金） 12：30～13：30（開場 11：00） 12：30～13：30 ポスターセッション 13：30～16：20 講演ならびにパネルディスカッション
会 場	フクラシア東京ステーション（ https://www.fukuracia-tokyo.jp/access/ ） 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 6F メイン会場：会議室 D ポスターセッション：会議室 G 最寄駅：JR 東京駅、地下鉄 大手町駅 ・ JR 東京駅 日本橋口 徒歩 1 分 ・ 地下鉄 大手町駅 B6 出口直結
第一部	
プログラム	13：30 開会挨拶 中島正愛 レジリエントな防災・減災機能の強化 PD 藤野陽三 インフラ維持管理・更新・マネジメント技術 PD 13：34 SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」について 松本英三 内閣府 大臣官房審議官 講演 13：40 大規模実証実験等に基づく液状化対策技術の研究開発 菅野高弘 港湾空港技術研究所 上級専任研究員 13：55 災害情報の配信や迅速なネットワーク復旧技術の研究開発 熊谷 博 情報通信研究機構 耐災害 ICT センター 副研究センター長 14：10 地域連携による地域災害対応技術の研究開発 金田義行 名古屋大学 減災連携研究センター 特任教授 14：25 リアルタイム被害推定・状況把握システムの開発 藤原広行 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域長 － 休憩 －

第二部	
プログラム	合同セッション「防災・インフラ維持管理への共通技術の利活用について」 話題提供 14：49 将来の社会実装を目指した SAR 衛星によるインフラ変位モニタリング 富井直弥 宇宙航空研究開発機構 技術領域リーダー 15：04 災害時初動調査による SAR 等の活用について 國友 優 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究室長 15：14 衛星 SAR によるダムの維持管理における変位モニタリング 佐藤弘行 国土技術政策総合研究所 大規模河川構造物研究室 主任研究官 15：29 インフラ維持管理／防災におけるドローン技術の応用 永谷圭司 東北大学大学院工学研究科 准教授 15：44 災害対応ロボットの取り組みについて ー遠隔操作機械による調査・作業の実現ー 油田信一 次世代無人化施工技術研究組合 理事長 パネルディスカッション 15：54 パネリスト（予定） 中島正愛 レジリエントな防災・減災機能の強化 PD 藤野陽三 インフラ維持管理・更新・マネジメント技術 PD 福和伸夫 レジリエントな防災・減災機能の強化サブ PD 田中健一 インフラ維持管理・更新・マネジメント技術サブ PD 若原敏裕 インフラ維持管理・更新・マネジメント技術サブ PD 藤原広行 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域長 富井直弥 宇宙航空研究開発機構 技術領域リーダー 國友 優 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究室長 16：19 閉会挨拶 中島正愛 レジリエントな防災・減災機能の強化 PD 16：20 閉会

以上